

楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.80

日時	2014年2月8日
行脚先	播磨国総社射楯兵主神社
住所	兵庫県姫路市総社本町(播磨国)
行事名	全国行脚祈願の儀

特徴

欽明天皇25年(564)6月11日に影向があり、飾磨郡伊和里水尾山に、大己貴命(兵主の神)を祀ると伝えられています。

また、歴代の守護職・城主からも「家の氏宮」・「姫路城鎮護の社」として篤い崇敬を仰いで参りました。

天正9年(1581)、秀吉の姫路城大築城の際に、現在地に移転遷座してからは、池田輝政公からは表参道入り口の中堀に架かる石造りの太鼓橋(鳥居先橋)を、本田忠政公からは総社総神殿や玉垣の造営がなされ、榊原忠次公からは舞殿の再興や大鳥居(県重文)が寄進される等数々の宝物が奉獻されました。

昭和23年、市民により復興奉賛会が結成され、昭和40年に昭和の大復興を達成し、また、平成の大造営を氏子・崇敬者と共に行い、多くのご奉賛を賜って、平成19年総社御門を復興しました。

黒田官兵衛との関わり

歴代の守護職・姫路城主の崇敬をうけてきた大社。

官兵衛の父・職隆が拝殿や神門を再建、官兵衛も制札を与えるなど、その保護に努めました。

また、黒田家系譜によると豊臣秀吉より軍陣において旗を立てる許しを得た官兵衛は、父・職隆と相談し、播磨国総社で7日間にわたり祈禱を行い父子共々、毎日参詣したといわれています。

記録

